

岩木川ダム 統管だより

100号
2025年
(令和7年)
8月29日

浅瀬石川ダム



浅瀬石川ダムキャラクター
アッチャンとパパ



岩木川ダム統合管理事務所 100号までのあゆみ



津軽ダム



津軽ダムイメージキャラクター
ペッカー君

『岩木川ダム統管だより100号を迎えて』

岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

事務所長 齊藤 正道



「岩木川ダム統管だより」は本号で創刊100号となります。
100号を迎えられたのも、ひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。
とともに、100号という節目の発行を皆様と共に迎えられたことを、大変光栄に思います。

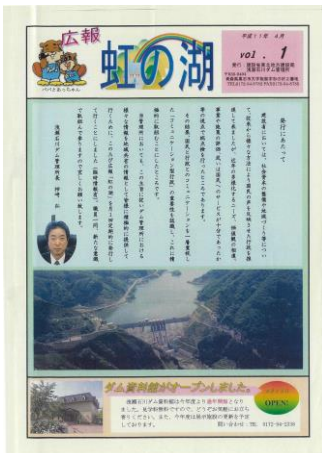
「岩木川ダム統管だより」の前に、地権者並びに地域の皆様との信頼関係を強化すると共に情報伝達を確実なものとし、ダムに関する情報を地域共有の情報として提供することを目的に、浅瀬石川ダムでは「広報虹の湖」の名称で平成11（1999）年4月から、津軽ダムでは「津軽ダムだより」の名称で同年2月から発行されてきましたが、平成29（2017）年4月の「岩木川ダム統管理事務所」開所を契機に、発行の目的はそのまま引継ぎ「岩木川ダム統管だより」として創刊したものです。

「岩木川ダム統管だより」は、概ね1回／月のペースで、津軽ダム工事にご協力頂いた方をはじめ、地方自治体など250部ほど配布しており、今年度から県外の人にも読んでもらえるよう、青森市内の観光施設や港湾施設などにもおかせて頂いております。

読んで頂いている方からは、「楽しく拝読させて頂いている」ことのほか「くれぐれもコロナに負けずに皆さんご自愛ください。広報担当ケッパレ！！」とお心遣い頂き感奮興起しております。
令和4（2022）年5月から「津軽のむかしっこ」が事務所HPに掲載されていることを紹介しておりますが、津軽を離れ津軽弁を話す機会が減った人から「ど〇ず！って今聴かないし言わね～な～なつかしいな～」と言われるのもうれしいものです。

令和7年は豪雪に始まり、7月は高温少雨の中、津軽ダムにおいては最低水位を下回る恐れもありましたが、ダム利水関係者等のご尽力ご協力により、濁水被害の拡大を抑制することができました。
今後とも「岩木川ダム統管だより」をとおして、季節を感じてもらいつつ、地域の皆様との信頼関係を更に強固にできるよう紙面を工夫して参りますので、ご期待ください。

最後になりますが、ダムは洪水や濁水対応のみならず、上水道や発電など毎日の生活を支えています。地球温暖化の影響でこの津軽地域でも高温、小雨・豪雨・豪雪と極端になってきておりますが、今後も適切なダム管理を通じて皆様方から寄せられる期待に職員一同しっかりと応えていく所存でございますので、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



▲広報虹の湖（創刊号）



▲津軽ダムだより（創刊号）



▲津軽のむかしっこ

ある年、弘前の観桜会に来た、四人の婆様が届きました。四人の婆様は昔、同じ村に住んでいた幼なじみで、仲良くおしゃべりしてました。
娘になった頃、四人はそれぞれ、嫁に行きました。一人は磯貝に、一人は久井名館に、一人は五所川原に、一人は油川に行きました。
久しぶりに、観桜会で再会した婆様達は懐かしい昔話を花を咲かせ、夫の話や、子供、孫のはなしをして飽きるほど長く話していました。
そして、それから、それぞれ、自分の住んでいる所の話を聞かせ合いました。

平成29年-平成31年

H29.04 開所式 (創刊号)



05 技術賞受賞 (2号)

06 全建賞受賞 (3号)

10 グッドデザイン賞受賞 (6号)
1周年式典 (6号)



12 道の駅津軽白神認定
インフォメーション
センター竣工落成 (8号)

H30.04 弘前観桜会100周年 (12号)

06 土木学会IIグループ
技術賞 (14号)

水陸両用バス1万人
達成 (14号)

10 浅瀬石川ダム30周年
記念シンポジウム (18号)



12 岩木川改修100周年シ
ンポジウム (20号)



H31.02 土木学会デザイン賞
最優秀賞 (22号)

①ダム完成と管理開始



【試験湛水】

平成28年2月13日から開始した試験湛水は4月18日に洪水時最高貯水位に到達、9月7日に安全性に問題がないことを確認し、試験湛水を完了いたしました。
(詳しくは津軽ダムだより204号に記載)

【竣工式】

昭和63年4月の着工開始から28年の歳月を経て、竣工を迎えました。
竣工式では主催者の挨拶などを行い、最後に参加者全員による万歳三唱で津軽ダムの竣工を祝いました。
(詳しくは津軽ダムだより202号に記載)



【岩木川ダム統管理事務所開所式】

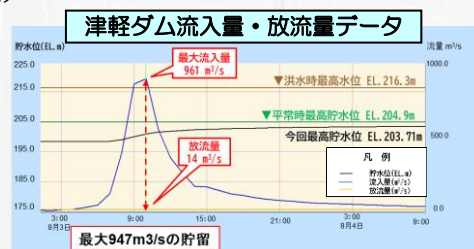
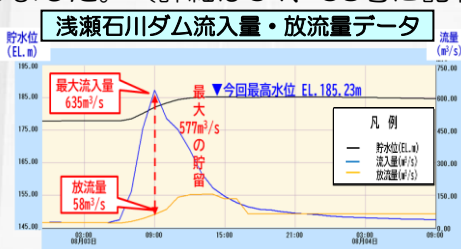
岩木川流域の洪水調節と河川環境の保全、水道用水の供給等のために、浅瀬石川ダムと津軽ダムの統管理を行い、岩木川流域における管理体制の強化を図るために当事務所が設置されました。
(詳細は創刊号に記載)



②試練と対応

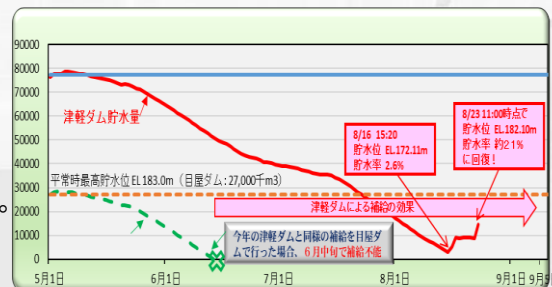
【令和4年8月 既往最大洪水】

令和4年8月3日と9日に前線の影響により青森県内は大雨となりました。当事務所が管理する、浅瀬石川ダム(黒石市)・津軽ダム(中津軽郡西目屋村)では、ダムへ流入する洪水を貯め込み、洪水被害の軽減に寄与しました。(詳細は64、65号に記載)



【令和元年8月 既往最大濁水】

津軽ダムでは、平成29年に管理移行にて以来最大の濁水に見舞われました。仮に津軽ダム完成前の目屋ダムで利水補給を行った場合には6月中旬で利水容量はゼロになっていたものと推測されます。
(詳細は号外に記載)



【水質保全対策】

平成24年9月に水道水の異臭味(かび臭)問題が発生したことを踏まえて、令和2年6月1日、浅瀬石川ダムで水質保全施設“湖水循環装置”の本格運用が始まりました。
(詳細は38号に記載)



令和元年-令和4年

③地域との絆

R元.05 水陸両用バス スペシャル運行開始 (26号)

物産センタービーチにしめや竣工 (25号)

R元.08 既往最大湧水 (号外)



10 西目屋村成130周年 (30号)

R2.02 日本ダムアワード低水管理賞 (34号)

04 新型コロナウイルス感染症流行 (36号)

06 浅瀬石川ダム 湖水循環装置完成 (38号)



07 黒石市都市景観大賞優秀賞 (39号)

12 西目屋村役場新庁舎竣工 (44号)

津軽ダム 増築庁舎完成 (44号)

R3.12 ダムカードSマーク (63号)



R4.08 既往最大洪水 (64、65号)

【地域イベントにあわせたライトアップ】

春のさくらまつり、秋の中野もみじ山ライトアップなど地域のイベントにあわせてダムライトアップを行っています。



【雪だるまを使った地域イベントへの参加】

浅瀬石川ダムに巨大な雪だるまを制作し、黒石市のイベント「津軽くろいしみんなの雪だるまコンテスト」に参加しています。(詳細は46、94号に記載)



【ダム監査廊内で酒貯蔵】

平成29年3月23日に黒石市と「浅瀬石川ダムの試行的利活用に関する覚書」、令和6年6月6日に西目屋村と「津軽ダムの試行的利活用に関する覚書」の締結式を行いました。

年間を通して温度変化の少ないダムの監査廊内で地酒等を一定期間貯蔵し、熟成等の有効性を確認していきます。

浅瀬石川ダムについては東北地整初の事例となりました。

【パネル展示で地域イベントに参加】

地域のイベントにおいてパネル展示を行い、ダムを紹介しています。ダムのことをより知っていただくことを目的とし、ダムの効果や四季折々の写真、ライトアップを写真を展示しています。



【地域防災組織と連携した警報訓練】

ダムの計画を超えるような大規模洪水を想定したダム警報訓練を実施しました。この訓練は、山形地区自主防災組織と黒石市、当事務所の三者合同によるもので、洪水に備えた訓練として「住民参加型避難行動訓練」「ダム警報訓練」を行いました。

(詳細は87号、99号に記載)



数字で見る岩木川ダム統管のあゆみ

浅瀬石川ダム来訪者

数約**7**万人

浅瀬石川ダム
ダムカード配布数

約**2.4**万枚

令和4年8月洪水で
浅瀬石川ダムによる
低下した川の水位

約**3.43**m

津軽ダム来訪者数

約**16**万人

津軽ダム
ダムカード配布数

約**6.3**万枚

令和4年8月洪水で
津軽ダムにより
低下した川の水位

約**2.46**m

令和4年-令和7年

ダム広報について

R4.09 ダムメール開始 (65号)



どうして広報をしているの？

生命・財産の安全・安心をささえるインフラであるダムの機能を維持するために、生活者や自治体などと信頼関係を築きたいとの思いで広報活動を行っています。ダムの仕事・役割を果たすため日々仕事をしてはいますが、限界はあるため（緊急放流など）、万が一のときに、生活者や自治体、企業などと情報伝達をスムーズに行い、より安全な対策をとるために協力しあえる関係を築くために広報を行っています。

岩木川ダム統管だより以外の広報ツールは？



ホームページ



X(旧Twitter)

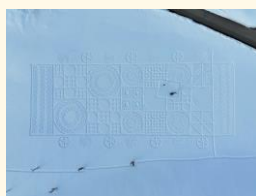


資料展示室



ダム見学会 など

R5.02 スノーアート初開催 (70号)



歴代広報担当者から一言

一番印象に残っているのは、静岡県 の地権者様から「主人と両親の故郷、西目屋村。生存していたら毎月のダムだより嬉しく拝見していたと思います。嫁の私も三人にいつも読み聞かせています。」という年賀状が届いた事です。平成29年度。これが、私的にながりの励みになりました。



08 水陸両用バス6万人達成 (79号)

ダムだより用にと夜間、ダム下流左岸側でライトアップの写真を撮影していた時のこと。風が吹いたわけでもないのに茂みがガサガサと！三脚をもって必死に走りました。今では懐かしい思い出です。



R6.06 津軽ダム 酒貯蔵開始 (86号)

季節ごとのダムライトアップ写真撮影や紙面の差替え作業。昔話の、あらずじ掲載等、人との関わりがとても懐かしく、情報発信と記録のため携わった皆さんに心から感謝しております。



10 水陸両用バス7万人達成 (91号)

1年間の担当でしたが記事のネタになるものを求め東奔西走したものでした。ライトアップやイベントでの写真撮影では沢山とるも使えないものも多く後々どうしようか悩むことも多かったです。



R7.08 広報紙「岩木川ダム統管だより」100号達成



若手職員もがんばってます！



岩木川ダム統管管理事務所では、ベテラン職員が多い中、若手職員も日々奮闘しています。点検業務や設備の維持管理といったダムの安全を守る重要な業務に取り組む一方で、ダム見学の案内や学校でのリクルート活動など、地域とのつながりを深める活動にも積極的に参加しています。上司や先輩方の指導を受けながら、若手ならではの視点とエネルギーで成長を続け、その姿は事務所を支える大切な存在となっています。これからも地域の安全と安心を守るため、全職員で力を合わせて取り組んでまいります。

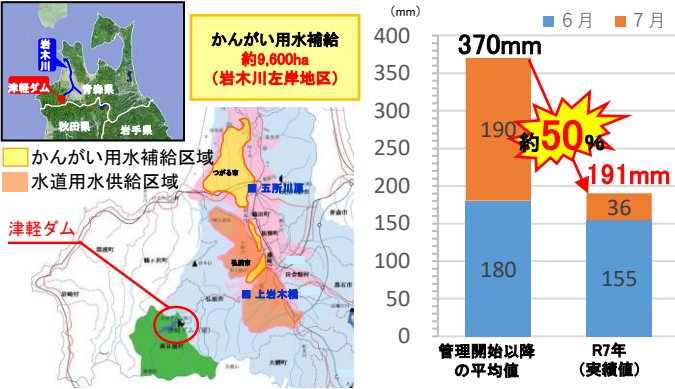


令和7年**渇水**における津軽ダムの効果

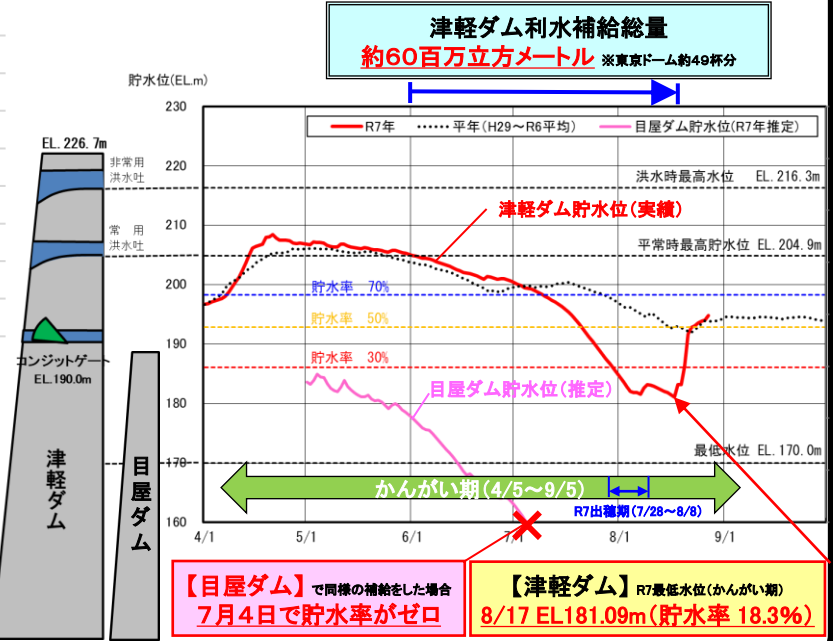
- ◆津軽ダム流域の6～7月降水量は、**H29(2017)年管理開始以降の平均に対して約50%**と少なく、特に**7月は同管理開始以降の最少値となる36mm/月(平均に対して約19%)**を記録した。
- ◆少雨の影響により、貯水位は7月上旬～8月上旬にかけて**平年を下回り急激に低下し、8月17日には今期最低の貯水率18.3%(平均※1に対し-32.2%pt)まで低下した。**
- ◆かんがい用水、水道用水、河川維持用水の安定供給のため**多様な関係者との調整・連携**により、**6月～8月で総量約60百万立方メートル(東京ドーム約49杯分)の利水補給を実施した。**
(目屋ダムが利水補給していた場合は7月4日で貯水率がゼロとなり出穂期(7/28～8/8)の補給が不能となったものと推測)

※1 管理開始以降8ヶ年(H29～R6)の8月17日 9時時点における貯水率の平均

津軽ダムからの利水補給区域 津軽ダム流域降雨量(6～7月)



津軽ダム貯水池運用実績図(令和7年)



岩木川ダム統管からのお知らせ

秋のライトアップ

時 10月17日(金)～11月16日(日)午後4時30分～午後9時
所 浅瀬石川ダム・津軽ダム

中野もみじ山ライトアップ

時 10月中旬～11月上旬
所 中野もみじ山 (浅瀬石川ダムから車で10分弱)



編集後記

平成29年4月津軽ダムの管理移行とともに発足した岩木川ダム統管管理事務所は、今年で9年目を迎えました。そして、岩木川ダム統管だよりは、当事務所発足後、ほぼ毎月発行し、今回無事に100号の節目を迎えました。著者は、津軽ダムの建設時代から津軽ダム事業に携わっていますが、創刊号から現在まで見てみると、津軽ダムが完成してからいろんなことがあったな—と思ひ出されます。これまで浅瀬石川ダムおよび津軽ダムのこと、そして地域の情報など、掲載させていただき、関係の皆様には深く感謝申し上げます。これからも両ダムに関するさまざまな情報や地域のイベントなどに関する情報を紹介し、多くの皆様が地域に来ていただけるような情報を発信して行きたいと思ひますので、引き続き、ご愛読くださるようお願いいたします。(五十嵐)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
 岩木川ダム統管管理事務所
 (浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
 青森県中津軽郡西目屋村大字居森
 平字寒沢138-2
 TEL 0172-85-3035
 FAX 0172-85-3061



〈HP〉 〈X〉

岩木川ダム統管管理事務所
 ホームページアドレス
<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
 公式X(旧Twitter) @mlit_iwakito